

5月 1-7 日

歴代第二 17-19 章

114 番の歌と祈り

開会の言葉 (1 分)

神の言葉の宝

「エホバと同じように他の人を見る」 (10 分) 大谷 正 B

宝石を探し出す (10 分) 田中 克彦 B

代二 17:9 彼らはエホバの律法の書を持参し、ユダで教え始めた。ユダの全ての町を回って、民を教えた。

エホシャファトが組織した教育活動から何を学べるか。

(塔研 17.03 20 ページ 10-11 節) 10 アサの息子 エホシャファト は「その父アサの道に歩み続け」ました。(代二 20:31, 32 エホシャファトはユダを治め続けた。彼は 35 歳で王になり、エルサレムで 25 年治めた。彼の母はアズバといい、シルヒの娘だった。32 彼は父アサと同じ道を歩み続けた。その道からそれず、エホバから見て正しいことを行った) どのようにですか。父と同様、神を求めるよう民を励ました。「エホバの律法の書」を用いた 教育活動を組織 したのです。(代二 17:7-10 治世の第 3 年、エホシャファトは、ベン・ハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタヌエル、ミカヤという高官たちを呼び、ユダの町々で教えさせた。8 シェマヤ、ネタヌヤ、ゼバドヤ、アサエル、シェミラモト、エホナタン、アドニヤ、トビヤ、トブ・アドニヤというレビ族の人たちも同行し、祭司のエリシャマとエホラムも一緒だった。9 彼らはエホバの律法の書を持参し、ユダで教え始めた。ユダの全ての町を回って、民を教えた。10 ユダの周りのどの王国もエホバからの恐怖に包まれ、エホシャファトと戦おうとはしなかった) 人々を「エホバに連れ戻すため」、北のイスラエル王国の領土である エフライムの山地にまで赴き ました。(代二 19:4 エホシャファトは引き続きエルサレムに住んだ。そして、ベエル・シェバからエフライムの山地まで、再び民の中を巡った。民を父祖たちの神エホバのもとに連れ戻すためだった) エホシャファトは「心をつくしてエホバを求めた」のです。—代二 22:9 それからエヒウはアハジヤを捜した。エヒウの部下たちはサマリアに隠れていたアハジヤを捕らえ、エヒウのもとに連れてきた。そうして彼らはアハジヤを殺した。「彼は心を尽くしてエホバに仕えたエホシャファトの孫です」と言い、葬った。アハジヤの家族には王国を治める力を持つ人は一人もいなかった。

11 わたしたちも、エホバが推し進めておられる大々的な教育活動に加 われます。あなたは毎月、この活動に携わっていますか。他の人に聖書を教え、神に仕えるよう励ましたい と思っていますか。そのことについて 祈って いますか。努力を続ける なら、神の 祝福 により、聖書研究を司会 できるかもしれません。自由な時間を幾らか犠牲にしても、研究を司会したい と思っていますか。エホシャファトは、真の崇拝に戻るよう人々を助けるため、エフライムの領土にまで赴きました。わたしたちも 不活発な人たちを助けるために努力 します。長老たち は、会衆の区域にいる 排斥された人たちを訪問して助けを差し伸べ ます。その人たちは 悪い行ないをやめているかもし れません。心をつくして人々をエホバに連れ戻す活動に励んで行きたい⇒私たちに永続的な愛される

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

聖書朗読（4分）[代二 17:1-19](#)（[教励 第 11 課](#)）金目 一郎 B 11

野外奉仕に励む

最初の話し合いの動画（5分）討議。「[最初の話し合い: 聖書（ロマ 15:4）](#)」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。佐藤 貴之 B

「誰でも仕事などで疲れたりストレスを感じることがある。そんな時に元気を取り戻すために何かしていることってあるか？（家でゆっくりしたりする）それはいいですね。中には聖書を読んで元気を貰っている人も居る。大変な時に誰かに温かい言葉を掛けてもらったら、どんな気持ちになる？（嬉しい）聖書を読むとそんな気持ちになる。ちょっとここを見てもらえるか？聖書はこんな本だという説明。[ロマ 15:4 聖書から慰めを得られるので、希望を持って居られる]。聖書から何をもらえる？（慰め？）そう。心が落ち着いたり、気持ちがポジティブになったりする温かい言葉が聖書には沢山ある。これまで読んだことあったか？（いや、ない）じゃー疲れた時に見ると元気が出る言葉を探してくるので、今度みてください。今も聖書の言葉だが、「希望が持てる」ってあったね。聖書には明るい将来について書かれているそのことも又お話しできたら嬉しいです。」

Q 1. 聖句の強調したい部分をどのように目立たせていたか？⇒聖書から何が得られるか質問して、その慰めによって心が落ち着いたり、ポジティブになったりする温かい言葉が沢山あると強調。今度探してくる。

Q 2. 宣教ツールボックスの出版物をどのように使えますか？⇒いつまでも幸せにレッスン 2 のポイント 4 の表に注目していただき「ここにある聖書の約束でそうなるといいなと思うものがある？」

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す（[教励 第 18 課](#)）吉田 S9 金刺由 S

話（5分）[塔研 21.05 17-18 ページ 11-15 節](#) 主題: 人々が関心を示さない場合も前向きでいる。（[教励 第 16 課](#)）宮城 ひかる S 14 布川 志津 S

クリスチャンとして生活する

[104 番の歌](#)

「[エホバと同じように自分自身を見る](#)」（15分）討議。[動画](#)を視聴する。竹林 直毅 B

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 44 ポイント 5-6, まとめ, 復習, 次のステップ](#) 星 延宏 B

閉会の言葉（3分）

[111 番の歌](#)と祈り 浮田 蒼 B

^（[代二 17:1-19:11](#)）代わりにアサの子エホシャファトが王になり、イスラエルで権力を強めた。2 彼はユダの防備された町全てに軍隊を配置し、ユダの土地と父アサが攻め取ったエフライムの町々に守備隊を置いた。3 エホバはずっとエホシャファトと共にいた。エホシャファトが、父祖

エホバと同じように他の人を見る

エホシャファト王は、アハブ王と同盟を結ぶという愚かな決定をした。（[代二 18:1-3](#)。 [塔研 17:03 24 ページ 7 節](#)）

エホバはエヒウを遣わし、エホシャファトを戒めた。（[代二 19:1, 2](#)）

エホバは、エホシャファトが以前に行った良いことを忘れなかった。（[代二 19:3](#)。 [塔 15 8/15 11-12 ページ 8-9 節](#)）



考えてみよう：「エホバと同じように、兄弟姉妹の不完全さではなく良いところに注目しているだろうか」。

^ [（代二 18:1-3）](#) エホシャファトはこうして豊かな富と栄光を手にしたにもかかわらず、結婚による同盟をアハブと結んだ。2 何年かした後、エホシャファトはサマリアのアハブの所に行った。アハブはエホシャファトの一行のために羊や牛をたくさん犠牲として捧げた。そして、ラモト・ギレアデを攻めに行くようエホシャファトにしきりに勧めた*。3 イスラエルのアハブ王はユダのエホシャファト王に言った。「ラモト・ギレアデに私と一緒に行ってくれませんか」。エホシャファトは答えた。「私とあなたは一つです。私の民とあなたの民も一つです。私たちも一緒に戦います」。

または、「を説得した」。

^ [（代二 19:1, 2）](#) ユダのエホシャファト王は無事にエルサレムの家*に帰った。2 神からの幻を伝える人ハナニの子エヒウが会いにやって来て、エホシャファト王に言った。「あなたが助けるべきなのは、悪い人でしょうか。愛するべきなのは、エホバを憎む人でしょうか。今回のことで、エホバはあなたに憤っています。

エホバと同じように自分自身を見る

聖書には「エホバはご自分の民のことを喜ぶ」とあります。（詩 149:4 エホバはご自分の民のことを喜ぶ。救うことによって温厚な人を飾る）私たちは不完全ですが、エホバは私たちの良いところや可能性に注目してくださいます。とはいえ、自分についてバランスの取れた見方をするのを難しく感じることもあるかもしれません。例えば、他の人からひどい扱いを受け、自分には価値がないと思うことがあるでしょうか。あるいは、過去にしてしまったことが頭から離れず、エホバは自分のことを本当に愛しているのだろうか、と思うことがあるかもしれません。こうした気持ちになった時に何が助けになりますか。

エホバは人を見る時、人間には見えない部分も見ることができます。（サムー 16:7 しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」）ですから、エホバは私たちのことを私たち以上によく知っています。では、エホバは私たちのことをどのように見ているのでしょうか。聖書を読むと、エホバがご自分に仕える人たちをどれほど愛しているかが分かります。そうした記述をじっくり考えるなら、エホバの見方をよく理解することができます。

「エホバのみ前で自分の心を説得する」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

①マラソンに参加した少年と父親の例えから、私たちに対するエホバの見方について何が学べますか。⇒つまり倒れても、私たちはエホバにとって貴重な子供で、努力や可能性を信じてくださっている。

②重大な罪を犯したとしても、エホバとの関係を取り戻すために必要なステップを踏んでいるなら、不安を感じる必要はありません。なぜそう言えますか。（ヨハ一 3:19, 20 そのようにして、私たちは自分が真理から出ていることを確信し、神の前で安心(*心を納得させることが)できます。20 心に責められることがあっても安心できるのです。神は私たちの心より大きく(*私たち以上に私たちのことを知っているということ)、全てのことを知っているからです）⇒「安心する」と訳されている動詞には説得するという意味があり、過去に罪を犯したこの兄弟もこの聖句について考え黙想することによって、自分の固い心をエホバの前で説得することができた。

③ダビデとエホシャファトの記述を読んで思い巡らすことは、兄弟にとってどのように助けになりましたか。⇒(1)ダビデ：創造者としてエホバは私たちの弱さや動機、意図を誰よりもご存じ。こうしたことを黙想することにより、自尊心を取り戻せるようになった。(2)エホシャファト：王は自分を苛(さいな)む心を説得することができた。エホバはこの兄弟の過去の過ちも同じように見ることがお出来になり、その兄弟の忠実な奉仕を覚え、可能性とご意志を行う誠実な努力を覧になられることを納得できた。

聖書を読んで次の点を確信してください

①他の人からどう見られるとしても、エホバは愛してくださる。

エノク（創 5:24 エノクは真の神と共に歩み続けた後、いなくなった。ヘブ 11:5 信仰によってエノクは、死を見ないように移されました。神によって移されたので、どこにも姿が見えなくなりました。移される前に、神に喜ばれて高く評価された。ユダ 14, 15 アダムから7代目の人エノクも、彼らについてこう預言しました。「エホバ*は無

数(*幾万)の聖なる者を率いて来ました。15 全ての人を裁き、神を敬わない罪人を皆、断罪するためです。彼らが神を敬わずに行った全ての不敬な行為と、神に反抗して語った全ての不快な事柄に関して、断罪するのです」)

ハンナ (サムー 1:25-2:1125 雄牛はほふられ*, その子はエリの所に連れていかれた。26 そこでハンナは言った。「私は確かに、この場所であなたのもとに立ち、エホバに祈った者です。27 この子のことを私は祈り、エホバは願いをかなえてくださいました。28 それで私はこの子をエホバにお渡し*します。この子は一生涯、エホバのもです」。すると彼*はそこでエホバにひれ伏した。

2 ハンナは祈った。「私の心はエホバのゆえに喜び、私の角*はエホバによって高く上げられ*ます。私の口は敵に向かって大きく開きます。あなたによる救いを喜ぶからです。2 エホバのように聖なる方はいません。あなたのほかにはいないのです。私たちの神のような岩はありません。3 傲慢に語ってはなりません。横柄な言葉を口から出してもなりません。エホバは知識の神であり、人々の行いを正しく評価なさるからです。4 強い人の弓は砕かれますが、つまずく人は力を得ます。5 十分に食べていた人はパンのために働かなければならなくなり、飢えていた人はもう飢えることがありません。子供がたくさんできた人は産めなくなり、子供ができなかった人は7人も産みます。6 エホバは殺すことも生かす*こともします。墓*に下らせることも、そこから引き上げることもします。7 エホバは貧しくすることも裕福にすることもします。卑しめることも重んじることもします。8 立場が低い人を地面から起き上がらせ*ます。貧しい人を灰の山*から引き上げて、高官たちと共に座らせ、栄誉ある席を与えます。大地の土台はエホバのもので、神はその上に土地を据えます。9 神はご自分に尽くす*人の一步一步を守りますが、悪い人は闇の中で沈黙させられます。人は力によって勝利することはできないのです。10 エホバは逆らう人を砕き*ます。彼らの上に天から雷を落とします。エホバは地の果てまで裁きます。任命した王に力を与え、選んだ*者の角*を高く上げ*ます」。11 エルカナはラマの家に帰った。少年サムエルは祭司エリの前でエホバの奉仕者になった*, 18-21 さて、サムエルは少年だったが、亜麻布のエフォドを着てエホバの前で奉仕していた。19 母親はサムエルのために小さな袖なしの上着を作り、夫と一緒に年ごとの犠牲を捧げに来る時、毎年それを持ってきた。20 エリはエルカナと妻のために祝福を願い求め、こう言った。「あなたがエホバに渡した(d*貸した)子供の代わりに、エホバがあなたと妻の間に子供を与えてくださいますように」。そして彼らは家に帰った。21 エホバがハンナに注意を向けたので、ハンナは妊娠し、さらに3人の息子と2人の娘を産んだ。少年サムエルはエホバの前で成長していった、26 その間、少年サムエルはすくすくと成長していき、エホバからも人からもますます好まれるようになった)

②罪を悔い改めるなら、エホバは心から許してくださる。

マナセ (代二 33:1-7 マナセは12歳で王になり、エルサレムで55年治めた。2 マナセはエホバから見て悪いことを行い、イスラエルの民の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねた。3 父ヒゼキヤが取り壊した高い場所を再び築き、バアルのために祭壇を設け、聖木を作った。また、天の全ての星(d*天の全軍)を崇拝してひれ伏した。4 エホバがかつて「私の名は永遠にエルサレムにある」と言ったそのエホバの家の中にも祭壇を作った。5 エホバの家の2つの庭に、天の全ての星(d*天の全軍)のために祭壇を作った。6 ヒンノムの子の谷で自分の子たちを火で焼き(d*に火の中を通らせ)、魔術を行い、占いをし、呪術を行い、霊媒師や占い師を任命した。エホバから見て悪いことを大規模に行って、神を怒らせた。7 マナセは彫刻像を作り、真の神の家の中に置いた。かつて神はその家について、ダビデとその子ソロモンにこう言っていた。「私は、イスラエルの全部族の領地から選んだエルサレムとこの家に、私の名をいつまでも付す、¹⁰ エホバはマナセと民に語り続けた。しかし彼らは注意を払わなかった。¹¹ それでエホバはアッシリアの王の軍隊長たちを彼らに差し向けた。軍隊長たちはマナセをかぎで引っ掛けて捕らえ、銅の足かせ2つをはめてバビロンへ連れていった。12, 13 マナセは苦難の中、エホバ神に恵みを求め、父祖たちの神の前でとても謙遜になった。13 彼が神に祈り続けたので、神はその懇願に心を動かされ、恵みを求める願いを聞き、彼をエルサレムでの王位に復帰させた。こうしてマナセはエホバこそ真の神であると悟った)

パウロ (テモ一 1:12-16 私は、力を授けてくださった主であるキリスト・イエスに感謝しています。私を忠実な者と見なし、奉仕する務めを与えてくださったからです。13 以前は神を冒瀆し、神の民を迫害し、横柄だった私が、憐れみを示されました。当時は信仰がなく、よく知らずに行動していたからです。14 私たちの主は惜しみない親切をあふれるほど豊かに示してください、私が信仰とキリスト・イエスからの愛を得られるようにしてくださいました。15 キリスト・イエスは罪人を救うために世に来た、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきものです。私はそのような罪人の中でも最も罪深い者です。16 それなのに私は憐れみを受けました。それは、キリスト・イエスが最も罪深い私にさえ十分に辛抱強さを示し、そのようにして私を、永遠の命を求めてキリストに信仰を持とうとしている人たちの見本とするためでした)